

## 高崎高校 6年ぶりに SSH 指定校に！

今年の3月末、高崎高校に大きなニュースが飛び込んできました。数年前から応募をしながら、なかなか採用までこぎつけなかった SSH（スーパーサイエンスハイスクール）に6年ぶりに指定されたのです。

## SSH とは

SSH とは、文部科学省が将来の国際的な科学技術人材を育成するため先進的な理数系教育を実施する取り組みです。全国で 200 校の高等学校等が指定を受け、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が国の予算を使って指定校および県の教育委員会とともに最先端の教育に関する共同研究を行います。

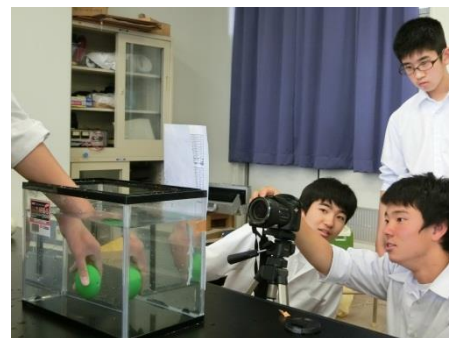
SSH 指定校の生徒は、特別なカリキュラムやイベントに参加したり、他の学校と研究を通じて交流を深めたりすることになります。

## ＜関東圏で SSH の指定を受けている学校 50 校＞

都県名	指定校名	都県名	指定校名	
東京都	都立小石川中等教育学校	埼玉県	早稲田大学本庄高等学院	
	早稲田大学高等学院		県立川越高等学校	
	筑波大学附属駒場高等学校		県立川越女子高等学校	
	東京学芸大学附属高等学校		県立熊谷高等学校	
	都立科学技術高等学校		県立不動岡高等学校	
	都立多摩科学技術高等学校		県立浦和第一女子高等学校	
	都立日比谷高等学校		県立熊谷女子高等学校	
	東海大学附属高輪台高等学校		県立熊谷西高等学校	
	文京学院大学女子高等学校		県立松山高等学校	
	玉川学園高等部・中学部		県立春日部高等学校	
	東京学芸大学附属国際中等教育学校		さいたま市立大宮北高等学校	
	都立戸山高等学校		茨城県	茗溪学園中学校・高等学校
	東京工業大学附属科学技術高等学校			県立並木中等教育学校
神奈川県	県立西湘高等学校	県立日立第一高等学校・附属中学校		
	県立厚木高等学校	清真学園高等学校・中学校		
	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	県立緑岡高等学校		
	県立横須賀高等学校	県立竜ヶ崎第一高等学校		
千葉県	千葉市立千葉高等学校	県立水戸第二高等学校		
	県立佐倉高等学校	栃木県	県立足利高等学校	
	県立船橋高等学校		県立栃木高等学校	
	県立柏高等学校		県立宇都宮女子高等学校	
	県立木更津高等学校		佐野日本大学高等学校	
	県立長生高等学校		白鷗大学足利高等学校	
	市川学園市川高等学校・市川中学校	群馬県	県立桐生高等学校	
	県立前橋女子高等学校			
	県立高崎高等学校			

## これまでの主な SSH 行事

- 素朴な疑問発見講座 4月27日(水)・5月11日(水)  
6月8日(水) 5・6限  
6月22日(水), 23日(木) 4～6限
- 科学論文講座 I 5月27日(金) 3限  
講師：高崎量子応用研究所 箱田照幸先生
- 統計学基礎講座 6月1日(水) 2～3限  
講師：慶応義塾大学 渡辺美智子教授  
6月9日(木), 10日(金) 2～4限 院生と演習
- 文献探査活用講座 「情報」の時間内6時間



プレゼン講座 I

7月13日(水)予備学習

7月20日(水)工学・物理系, 生物化学系, 医学生物系の3部門に分かれ, 群馬大学留学生のプレゼンを英語で聴き, 質疑及びガイダンスを行いました。(留学生の出身国: 中国・モンゴル・インドネシア・スリランカ)

生徒アンケート

7月7日(木)実施

## 中島 SSH 主任より

小さい頃は身の回りのすべてが不思議で、世界のすべてが輝いて見えたものだ。(ちなみに私の息子=聡くんはまさに全盛期♡)

あのころから15年。すっかりこの世界の「色々」に慣れた高高のお兄ちゃん達よ。この世界はどうだい？

さらに15年経過した高高OBはどうか。

私は今、世界は輝いて見えるぞ。

今になっても初挑戦だらけの日々だからだろう。

今回だってそうだ。唐突に編集担当の山寺先生に

「4コマ漫画で主任のコメント作ってね♡」

と、リクエスト(ネタ振り?)を受けた。

自分じゃ無理と思い込んで、やらないのは簡単で楽。

自分でもできると思い込んで、やってみるのはすげー大変。

大人が新しい挑戦をするにはより高い知識や技能が必要だ。でも、それが手に入った時、世界は再び輝きだす。

SSHは再び世界の輝きをもたらすチャンスだ！

もし、SSH事業を受けるチャンスがあった時は是非、挑戦してほしい。

伝統とは形式を繋ぐことだけではなく、精神を繋ぎ時代とともに変化させること。

**「無茶だけど無理じゃない。」**

## 今後の予定 (細かな日程は後日発表します)

素朴な疑問発見講座発表会・・・1学期に行った素朴な疑問発見講座の成果を発表します。

科学体験実践講座・・・物理・化学・生物の基礎実験をローテーションで実施します。

課題研究 I ・ 成果発表会・・・各自がテーマ設定をし、論文作成に取り組み、成果を発表します。

科学論文講座 I・・・1学期に聴いた科学論文講座 I の2回目です。

科学リテラシー研修・・・県内の研究施設および大学で研修を行います。事前学習もあります。

ディベート講座・大会・・・ディベートの方法や技術について学び、実際に行ってみます。

統計学基礎講座・・・1学期の統計学講座の発展的な内容について演習を行います。

サイエンスキャンプ・・・冬休みに高崎高校のOBとともに合宿をして科学について語り合います。

○SSH通信で使用するイメージキャラクター募集中。「こんなもの作ってみた」という人は中島主任へ。

○付録: ちょっと古いけれど、かつて nature という雑誌についていた「英語で nature」というコーナーを印刷しました。参考訳もありますので自分の英語力を試してみましょう。

<SSH通信編集担当: 山寺・小久保>

